令和４年度　コミュニティ・スクール津屋崎小学校だより1月号

津屋崎

令和５年1月11日（水）
福津市立津屋崎小学校
校　長　　木庭竜之助

思うは招く

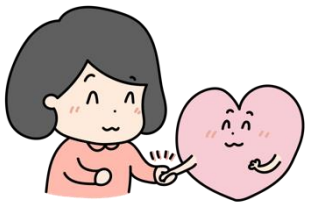
３学期のスタートにあたり、始業式で子どもたちに次の３つのキーワードで話しました。

一つは**「目標を持つこと」**。二つは**「自分のことをもっと知ること」**です。

「自分のことをもっと知ること」とは、自分の良さをもっと知ることを大切にしてほしいということです。目標を持つこととつながるのですが、ついついこれができないからこれをがんばると考えてしまいがちです。それはとても大切なことなのですが、いつの間にか自分のマイナス面ばかりに目を向けてしまいがちになります。だからこそ、**自分のいいところに目を向ける**ようにしてほしいなと思っています。そのためにも、**見方を変えてみよう**と話しました。

「発表が苦手です」という人がいたとします。でもそれは「言葉をしっかり選んでいる」とか「慎重な性格」と見方を変えることもできるでしょう。そう考えると、それなら発表じゃなくても、時間をかけて文章に書いてみると、力が発揮できるかもと、マイナスではなく、プラスの力に変えることができますね。（このような見方をリフレーミングというそうです。）

三つは『**どうせ**』**という言葉を使うのをやめよう**という話です。『どうせ』という言葉のあとには、「無理だ」「できない」「意味ない」といった否定し、あきらめる言葉が続きます。時々、子どもたちの口から、この言葉が聞かれることがあります。自分に向けて発せられることもあれば、周りの人に向かって発せられることもあります。『どうせ』は、可能性の芽を摘み、やる気を打ち消してしまう残酷な言葉です。（「あきらめたらそこで試合終了だよ」という有名な台詞もありますね）もちろん、子どもがそう口にしてしまうのには、それまでの経験があるのだと思います。子どもたちが『どうせ』とあきらめてしまわなくてよいような環境を、私たち大人がもっとしっかりつくっていかなければと思います。その上で、子どもたちにも、「言葉」を通して、見方や考え方を変えてほしいと願っています。だから、学校全体に「こうしてみよう」「こうしてみたら」と**前向きなプラスの言葉を広げていきたい**と願っています。



リフレーミングも、プラスの言葉も、まずは私たち大人からはじめましょう。

この話は、ご存じの方も多いと思いますが、植松努さんという方が話してくださっていることです。「思うは招く」というタイトルで、YouTube などで見ることもできます。ぜひ、植松さんのお話も聞いてみてください。

お知らせ

○　１月は、６年生、５年生が「対話」について、体験を通して学びます。

６年生は、中学校で一緒に学校生活を送ることになる勝浦小学校の６年生と一緒に語り合います。また、５年生は、いつも学校で話している子ども同士だけでなく、大人の方と一緒に語り合う体験をしようと計画しています。

津屋崎小学校は、対話を大切に、対話をベースにした教育活動、学校生活づくりを行っていきたいと考えています。毎日の授業でも、学級や学校の活動でも、休み時間にでも、思いや考えを届け合う、互いの言葉に耳を傾け、受け入れ合い、理解し合っていく。そんな学校、そんな人を育んでいきたいと願っています。

そのためにも、子どもたちに本物の対話を体験してほしい、しかも、たくさんの大人の方と一緒に「対話」を味わってほしいと考えています。

一緒に対話の場を作ってくださるのは、対話のプロである山口覚さんです。きっと、わくわく、ぽかぽかする対話を体験していただけると思います。たくさんの「大人」の方にご参加いただけると幸いです。子どもたちと一緒に対話を楽しみませんか？

申込フォーム➡

※1月19日(木)17:00締切

1月の主な行事

期日	内容
10 日（火）	３学期始業式
11 日（水）	給食開始
12 日（木）	宗像区人権研修会のため水曜時制
17 日（火）	不審者対応訓練
19 日（木）	委員会活動
20 日（金）	クラブ活動
23 日（月）	６年生対話の会（勝浦小と合同）
24 日（火）	中学校入学説明会
26 日（木）	【中止】ブロッ子タイム　コロナ感染状況を勘案して中止いたします
27 日（金）	代表委員会
	弁当の日
	５年生対話の会
28 日（土）	FUKUTSU コミュニティフェスタ